

委員会報告

予算常任委員会

委員長 廣本 昌久

◆「びわ湖源流の郷たかしま」実現に向けた積極型の新年度予算等を審査

今期定例会において、予算常任委員会が付託を受けた平成23年度当初予算に関する議第12

員会を開催しました。平成23年度当初予算は、施政方針の柱でもある「住みたいまちびわ湖源流の郷たかしま」を基本方針として、一般会計当初予算案では対前年比5.6%増、額として14億4千万円増となる26.9億8千万円の積極型の予算が編成されました。主な

円、びわ湖源流の森活性化事業（里山リニューール事業や巨樹・巨木の森整備事業など豊かな森林を次世代に引き継ぐため琵琶湖森林づくり県民税を活用した事業の展開）3千490万円、みんなで創るまちづくり事業（区や自治会等への支援制度）1億3千515万円、ゴミ減量大作戦事業985万円、子ども手当支給事業10億488万円、高島総合病院整備事業46億7千42万円などが計上されています。付託を受けました平成23年度当初予算に関する12議案は採決の結果、全て「可決すべきもの」と決しました。

◆大雪による除雪経費や国の経済対策を活用した事業を審査

2月24日に開催されました第1回臨時会において、予算常任委員会が付託を受けた平成22年度一般会計補正予算1件の審査を行うため、同24日午後1時より予算常任委員会を開催しました。

主な歳出予算については、国の緊急経済対策でもある、きめ細かな交付金や住民生活に光をそそぐ交付金などを活用した事業として、マキノ東小学校屋内運動場改築事業2億4千316万円、新旭学校

これらの事業は繰越明許で平成23年度に向けて実施されるものがあります。付託を受けました平成22年度一般会計補正予算1件は採決の結果、「可決すべきもの」と決しました。

平成23年度当初予算額

会 計 区 分	予 算 額	前年度比(△は減)	
一 般 会 計	269億8,000万円	14億4,000万円	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	56億5,300万円	1,900万円
	(直診勘定)	8,060万円	530万円
	後期高齢者医療事業特別会計	4億3,650万円	△9,650万円
	農林業集落排水事業特別会計	5億6,600万円	△1,000万円
	下水道事業特別会計	23億4,600万円	△1億4,100万円
	熱供給事業特別会計	630万円	△750万円
	土地取得特別会計	2,607万円	△47万円
	介護保険事業特別会計	40億8,400万円	2億2,800万円
	訪問看護ステーション事業特別会計	7,600万円	100万円
	事業会計		
水道事業会計	14億1,602万円	2,972万円	
病院事業会計	91億7,058万円	32億2,521万円	
介護老人保健施設事業会計	3億4,897万円	1,517万円	
予 算 総 額	511億9,004万円	47億793万円	

※老人保健医療特別会計は平成22年度で廃止

事業として、は、びわ湖源流の郷たかしま戦略策定事業環境と産業の好循環に向けて取組むための具体的な戦略の策定)720万円、地域特産品振興事業(高島産農産ブランドの確立や生産拡大、販売促進など)1千891万

また3月23日には、付託を受けました平成22年度一般会計予算を含む8会計の補正予算の審査をいたしました。主な歳出予算については、国の経済対策でもある住民生活に光をそ

総務常任委員会

委員長 橋本 恒夫

◆高島市みんなで創るまちづくり交付金に関する条例案についてほか4議案の審査

今期定例会において、当委員会が付託を受けた議決案件3件と条例案件2件の審査を行うため、3月1日に総務常任委員会を開催しました。

議決案件として、①財産の処分について議決を求めることについて(永田区)、②高島市辺地総合整備計画の策定につき議決を求めることについて(鹿ヶ瀬辺地)、③高島市辺地総合整備計画の策定につき議決を求めることについて(黒谷辺地)、④高島市みん

なで創るまちづくり交付金に関する条例



地域の河川清掃にはまちづくり交付金を

案、⑤高島市手数料徴収条例の一部を改正する条例案の計5件でありました。それぞれ変更しようとする計画および条例などの内容等について、審査をいたしました。これら付託の5議案はいずれも全員賛成で原案のとおり「可決すべきもの」と決しました。

今期定例会において、当委員会が付託を受けた議決案件2件の審査を行うため、3月2日に文教福祉常任委員会を開催しました。「高島市国民健康保険条例の一部を改正する条例案」は、出産育児一時金の支給額について、平成23年3月までの暫定措置として35万円から39万円に引き上げて支給されていたものを、国の方針を受けて本年4月以降も恒久的に39万円とする改正であり、全員賛成で原案のとおり「可決すべきもの」と決しました。

また審査終了後、教育委員会の「高島市子ども・若者育成支援地域協議会の設置」にかかる所管事務調査を行いました。4月1日から、高島市少年センター内に「子ども・若者総合相談センター」を設置して、39歳までの二トやひきこもり、不登校等に対する支援体制が強化されます。委員会として、対象となる方や保護者に対して実のある支援が行われるよう求めました。

今期定例会において、当委員会が付託を受けた議決案件3件の審査を行うため、3月2日に産業建設常任委員会を開催しました。議第5号「市道の路線の認定につき議決を求めることについて」は、主要地方道小浜朽木高島線のうち、安曇川町長尾地先の道路整備の完了に伴い、旧道区間の約800メートルについて滋賀県から高島市に移管を受け、市道「東代西線」として認定しようとするもので、全員賛成で原案のとおり「可決すべきもの」と決しました。議第6号「市道の路線の認定につき議決を求めることについて」は、高島市が管理する林道「寒風麻生線」の

文教福祉常任委員会

委員長 梅村 彦一

◆出産育児一時金は39万円を恒久化

今期定例会において、当委員会が付託を受けた議決案件3件の審査を行うため、3月2日に産業建設常任委員会を開催しました。議第5号「市道の路線の認定につき議決を求めることについて」は、主要地方道小浜朽木高島線のうち、安曇川町長尾地先の道路整備の完了に伴い、旧道区間の約800メートルについて滋賀県から高島市に移管を受け、市道「東代西線」として認定しようとするもので、全員賛成で原案のとおり「可決すべきもの」と決しました。議第6号「市道の路線の認定につき議決を求めることについて」は、高島市が管理する林道「寒風麻生線」の

産業建設常任委員会

委員長 森脇 徹

◆高島市企業活動支援条例の一部を改正する条例案ほか2議案を審査

今期定例会において、当委員会が付託を受けた議決案件3件の審査を行うため、3月2日に産業建設常任委員会を開催しました。議第5号「市道の路線の認定につき議決を求めることについて」は、主要地方道小浜朽木高島線のうち、安曇川町長尾地先の道路整備の完了に伴い、旧道区間の約800メートルについて滋賀県から高島市に移管を受け、市道「東代西線」として認定しようとするもので、全員賛成で原案のとおり「可決すべきもの」と決しました。議第11号「高島市企業活動支援条例の一部を改正する条例案」については、地元企業の設備投資や地元雇用等を支援するために平成20年6月に制定されたもので、本年3月31日までの効力を失う期限条例であることから、この条例の効力を2年間延長し、引き続き企業を支援しようとするもので、全員賛成で原案のとおり「可決すべきもの」と決しました。

今期定例会において、当委員会が付託を受けた議決案件3件の審査を行うため、3月2日に産業建設常任委員会を開催しました。議第5号「市道の路線の認定につき議決を求めることについて」は、主要地方道小浜朽木高島線のうち、安曇川町長尾地先の道路整備の完了に伴い、旧道区間の約800メートルについて滋賀県から高島市に移管を受け、市道「東代西線」として認定しようとするもので、全員賛成で原案のとおり「可決すべきもの」と決しました。議第6号「市道の路線の認定につき議決を求めることについて」は、高島市が管理する林道「寒風麻生線」の